

興に45億4千万円

平成12年10月6日に発生した鳥取県西部地震から3年が過ぎました。

10月末には住宅の建て替えなどの住宅復興補助事業も完了し、本町の震災復興事業も一区切りつきました。そこで、この4年間に投じた費用や震災当時の被害状況を紹介します。

まちは震災復興費に45億4千万円を投入
 今年の10月末には、住宅の建て替えなどの住宅復興補助事業も完了し、本町の震災復興事業も一区切りつきました。まちは震災復興に投じた経費は、平成12年度17億8,743万9千円、平成13年度21億7,325万7千円、平成14年度5億6,077万円、平成15年度1,800万円となり、4年間で45億3,946万6千円になりました。

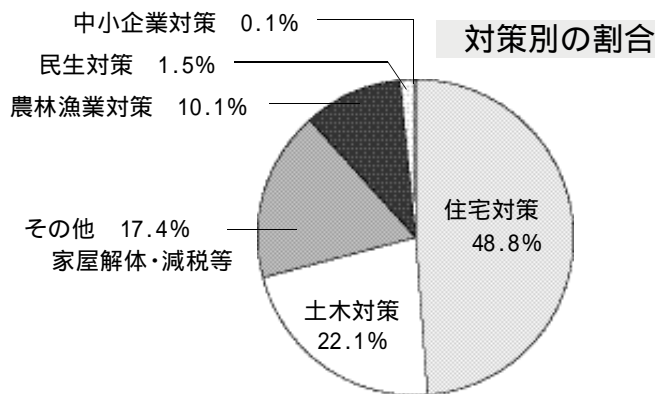
年度別地震復旧対策に係る経費

	復興予算額
平成12年度	17億8,743万9千円
平成13年度	21億7,325万7千円
平成14年度	5億6,077万円
平成15年度	1,800万円
合計	45億3,946万6千円

住宅復興など
 住宅対策22億2千万
 震災復興事業を金額の大きい対策別に見ると、住宅対策が22億1,554万円で、復興事業費の48.8%を占めました。その中で、住宅復興補助金が総額20億6,620万9千円。生活の立て直し資金貸し付けの災害援護資金貸付事業が9,230万円。生活必需品等の購入費用を支給した被災者生活再建支援事業が7,469万3千円になりました。順に公共施設の災害復旧、庁舎の修繕、道路復旧、治山事業の土木対策が10億1,220万円、家屋公費解体撤去費や税減免費用など(その他)が7億9,321万2千円。農林漁業施設の災害復旧に4億5,779万7千円。避難所の運営費などの民生対策は6,693万3千円になりました。民生対策の中で、65歳以上単身世帯などを対象にした家屋の小修繕等に係る費用助成

全国各地から
 9293万円の義援金
 震災以来、まちは、県内外を始め全国各地の多く皆さんから義援金、生活用品や食料品など多くの義援物資が届けられました。義援金は総額9,292万6千円におよび、主に住民、各自治会などへの見舞金やボランティアの育成などに使われました。

の高齢者等生活支援助成金支給事業は、2,303万5千円になりました。



7. 応急仮設住宅 (最大入居時)

	戸数	入居世帯	人員
黒坂団地	16戸	16戸	35人
下榎団地	6戸	6戸	19人
安原団地	2戸	2戸	3人
野田団地	4戸	4戸	15人
計	28戸	28戸	72人

8. 避難状況

避難所 平成12年10月6日～11月13日まで開所
 開所 = 12か所
 総避難所収容人数 = 3,834人(日野病院入院患者127人含む)

避難勧告 平成12年10月13日解除
 2か所 33世帯 77人 7事業所